



Tokyo Tech

Press Release

2023年3月6日

東京工業大学

米国化学会

東京工業大学、米国化学会（American Chemical Society）と電子ジャーナル転換契約を締結

東京工業大学と米国化学会（ACS）出版部門は、2023年1月から3年間のパイロットプロジェクトとして、電子ジャーナル転換契約（「Read & Publish」契約）を締結しました。日本国内においてACSとの転換契約は2例目であり、国立大学においては東京工業大学が初めての事例となります。

この契約により、東京工業大学の研究者はACSのジャーナルの論文のオープンアクセス出版の費用負担が軽減され、より多くの論文をオープンアクセス投稿する機会を得られます。化学及びその関連分野における同大のすぐれた研究成果がACSのジャーナルを通して、さらに広く世界中に知られることとなります。

東京工業大学理学院化学系の前田和彦教授は、「化学研究者にとって、ACSは成果発表のための一大プラットフォームです。私も年間数報の学術論文をACSから出版していますので、今回の転換契約を大変嬉しく思っています。オープンアクセス出版に必要な費用が軽減されることで、化学を中心とした本学からの成果発表がよりいっそう活発になると期待しています。」と述べています。

ACSは、世界中の諸機関と協力し、ACSジャーナルの購読料をオープンアクセス論文出版における自機関の研究者支援に充当、転換する方策を進めています。

「オープンアクセスは、世界中の人々に研究成果を伝えるための有力な施策です。ACSは、最も信頼され、最も引用され、最も広く読まれている出版社の一つとして、研究の透明性、アクセスの容易さ、再現可能性の向上を推進する責任があります。このたび東京工業大学と締結した契約においても、これらが最優先事項です。」と、ACS出版部門長のJames Milne博士は述べています。また、ACS出版部門でグローバルセールスおよびビジネスオペレーション&アナリシス責任者であるJim Baldini氏は、「ACSと東京工業大学との契約は、高等教育機関と出版社との提携・協力を促進する、というACSのコミットメントを示すものです」と述べています。

東京工業大学について

1881年に東京職工学校として設立され、1929年に東京工業大学となった、140年を超える歴史をもつ理工系総合大学です。世界を舞台に科学技術の分野で活躍できる人材の輩出と地球規模の課題を解決する研究成果によって社会に寄与し、長期目標である「世界最高峰の理工系総合大学」の実現を目指しています。

米国化学会 (ACS) について

米国化学会 (ACS) は、米国議会によって設立された非営利機関です。ACSの使命は、地球と全ての人々に利益をもたらすより広範な化学事業とそこに従事する人々の発展に寄与することです。ACSは優れた科学教育を推進し、複数の研究ソリューション、査読ジャーナル、科学会議、電子書籍、週間ニュースレターChemical & Engineering Newsを通じて、化学関連の情報や研究へのアクセスを提供するグローバルリーダーです。ACSの学術誌は、最も引用され、最も信頼され、そして最も読まれている科学文献です。しかしながら、ACS自体が化学研究を主導しているわけではありません。科学情報ソリューションのリーダーとして、ACSのCAS部門は世界の革新的な企業と提携し、世界の科学的知識をキュレーションし、結びつけ、分析することで科学におけるブレークスルーを加速しています。ACSは、アメリカ合衆国ワシントンD.C.とオハイオ州コロンバスに主要オフィスを構えています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

東京工業大学 総務部 広報課

TEL: 03-5734-2975

Mail: media@jim.titech.ac.jp

【本プレスリリース及び提供サービスに関するお問い合わせ先】

米国化学会 (ACS) 出版部門 日本オフィス

担当 齋藤・竹村

Mail: OAOps@acs.org